

報告第7号

2019年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団決算報告書並びに  
2020年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画について

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、2019年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団決算報告書並びに2020年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画を別紙のとおり提出する。

令和2年6月8日提出

取手市長 藤井信吾

2019年度

# 事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

公益財団法人取手市健康福祉医療事業団

2019年度事業報告  
(2019年4月1日～2020年3月31日)

2019年度事業計画に則り、生活困難者等の方々への施設利用を含め高齢者福祉サービスの向上を中心に、また、取手市域から信頼される高齢者介護ケアサービスの要として、事業を実施してまいりました。

I 公益事業

1 介護老人保健施設サービスの運営（生活困難者等の方の利用状況）

<居住費・食費の自己負担限度額のある方利用状況>

- (1) 生活保護等の方，老齢福祉年金受給者の方で世帯全員が市区町村民税非課税の方 0名／年間実利用者数
- (2) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で，前年の合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下の方 197名／年間実利用者数
- (3) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で，上記(1)，(2)に該当しない方 287名／年間実利用者数

2 短期入所療養介護サービス（ショートステイ）の運営（生活困難者等の方の利用状況）

<居住費・食費の自己負担限度額のある方利用状況>

- (1) 生活保護等の方，老齢福祉年金受給者の方で世帯全員が市区町村民税非課税の方 2名／年間実利用者数
- (2) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で，前年の合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下の方 40名／年間実利用者数
- (3) 世帯全員が市区町村民税非課税の方で，上記(1)，(2)に該当しない方 37名／年間実利用者数

3 事業計画に基づいた入所及び短期入所事業の状況報告

(1) 入所年間延利用者数

28,758名（1日平均利用者数78.6名）

短期入所年間延利用者数

2,126名（1日平均利用者数5.8名）

平均年齢

入所者 85.2歳

在宅復帰率 短期入所者 84.4歳  
67.6% (年間)

(2) 家族会の実施

- ・第1回家族会 2019年 8月 4日に実施
- ・第2回家族会 2019年12月15日に実施

(3) 内部（自己）及び外部（ご利用者様）評価の実施

（緑寿荘ホームページ及び広報誌で公表）

<内部（自己）評価>

- ・2018年度緑寿荘からの転院症例
- ・2018年度認知症短期集中リハビリ評価表集計報告
- ・2018年度アクシデント発生集計報告

<外部（ご利用者様）評価>

- ・2019年度食事満足度調査集計報告
- ・2018年度通所リハビリテーション満足度調査報告
- ・2018年度苦情及びクレーム集計報告
- ・第1回家族会アンケート報告
- ・夏まつり参加者アンケート報告

(4) リスク管理・感染症対策・事故防止・身体拘束廃止等への対応の実施

毎月第4金曜日に安全・衛生委員会を中心に、報告に基づいて各事例を多方面から分析検討し、事故予防対策等の徹底を図りました。

(5) 「食」に関する安心安全サービスの充実

毎月行われる栄養管理会議を中心に検討し、安心安全な食事を提供しました。

<食事プロジェクト>

- ・流しそうめん 6月に実施
- ・毎月のお楽しみ献立（季節行事食を含む） 月3回実施
- ・毎月のイベント（乳製品） 月1回実施
- ・調理クラブ 年6回実施
- ・外出してのランチ（期間：4月～12月） 月1回実施
- ・お茶会 週1回実施
- ・すし祭り 中止（3月）

(6) リハビリ専門施設としての更なる充実

在宅復帰施設としての要であるリハビリを下記のとおり実施しました。

## ①状態別リハビリテーションの実施状況

様々な状態に合わせたリハビリテーションを行い、身体機能の維持向上に努めてまいりました。

### <個別生活動作療法>

関節可動域運動及びポジショニング（姿勢維持のための練習）、起居動作練習、移乗動作練習、歩行練習、トイレ動作練習、床上動作練習、階段（段差）昇降練習

### <物理療法（疼痛の緩和）>

ホットパック（湿式・乾式）、マイクロ波、低周波、足浴

### <浮腫療法>

リンパマッサージ、メドマー（治療器械）、筋力増強運動（マシンを使った練習を含む）、足浴

### <個別及び集団での認知療法>

リアリティーオリエンテーション（見当識の訓練）、学習療法、回想法、運動療法、リラクゼーション・マッサージ療法、作業療法

### <摂食嚥下療法>

直接的嚥下訓練（食物を使った訓練）、間接的訓練（口腔体操（発声練習含む）・アイスマッサージ）

リハビリ実施回数（対象者：入所，短期入所者）

リハビリ内容	実人数	延実施回数
個別生活動作療法	232人	14,721回
物理療法（疼痛の緩和）	36人	1,478回
浮腫療法	15人	1,184回
個別及び集団での認知療法	124人	4,952回
摂食嚥下療法	20人	1,105回

## ②在宅復帰のご利用者様への退所前後訪問の実施

在宅復帰されるご利用者様のご自宅に退所前後に訪問して、快適な生活が営めるように専門職の観点から必要なサービス計画を立案し、実施しました。

<年間在宅復帰件数> 73件（内72件に退所前後訪問を実施）

## （7）消防訓練

2019年6月及び12月に総合訓練（通報訓練，消火訓練，避難誘導訓練，夜間想定訓練）を実施しました。

(8) 管理業務に関すること

①各設備保守点検（主なもの）

- ・エレベーター保守（遠隔監視：随時，定期：毎月）
- ・電気工作物保守（毎月1回実施）
- ・消防設備点検保守（年2回実施）
- ・その他の設備保守（毎月1回実施）

②各設備法定検査及び報告（主なもの）

- ・エレベーター法定検査
- ・簡易専用水道管理検査（受水槽関係を含む）

4 通所リハビリテーションサービスの運営

(1) 生活困難者等の方の利用状況

＜食費の自己負担限度額のある方の利用状況＞

生活保護等の方，老齢福祉年金受給者の方で世帯全員が市区町村民税非課税の方  
1名／年間実利用者数

(2) 事業計画に基づいた通所リハビリテーションの状況報告

在宅生活の要である通所リハビリテーションは，他の通所サービスとは異なり，医師・療法士・看護師・介護士等の多職種が個別ケアプランに基づきリハビリテーションを実施しています。また，単にリハビリテーションの提供だけでは通う楽しみも半減してしまいます。そうした観点より，ご利用者様に満足いただけるように各種イベントを開催して，楽しみながらリハビリが行えるサービスの提供に努め，継続したリハビリテーションの効果で身体機能の維持向上に努めてまいりました。

① 年間延利用者数 9,355人 平均年齢 82.8歳

②リハビリテーションの実施状況

＜個別生活動作療法＞

関節可動域運動及びポジショニング（姿勢維持のための練習），起居動作練習，移乗動作練習，歩行練習，トイレ動作練習，床上動作練習，階段（段差）昇降練習

＜物理療法（疼痛の緩和）＞

ホットパック（湿式・乾式），マイクロ波，低周波，足浴

＜浮腫療法＞

リンパマッサージ，メドマー（治療器械），筋力増強運動（マシンを使った練習を含む），足浴

<個別及び集団での認知療法>

リアリティーオリエンテーション（見当識の訓練）、学習療法、回想法、運動療法、リラクゼーション・マッサージ療法、作業療法

リハビリ実施回数

（対象者：通所リハビリ）

リハビリ内容	実人数	延実施回数
個別生活動作療法	120人	6, 131回
物理療法（疼痛の緩和）	45人	2, 863回
浮腫療法		該当者なし
個別及び集団での認知療法		該当者なし

③各種イベント等

<月例会>

ご利用される皆様に喜んでいただけるイベント等を立案して、通う楽しみを提供し、継続したリハビリの提供ができるように実施しました。

イベント内容	実施日	参加人数
お花見外出会	2019年 4月 1日～ 2019年 4月 5日	169名
緑寿荘大運動会	2019年 5月31日	38名
大相撲 緑寿荘場所	2019年 6月 4日	40名
通所「夏祭り」	2019年 7月18日	39名
すいか祭り	2019年 8月21日	35名
敬老週間（95歳以上のご利用者様を表彰）	2019年 9月17日～ 2019年 9月20日	143名
カラオケ大会	2019年10月11日	34名
芋煮会	2019年11月 6日	33名
クリスマス会	2019年12月25日	30名
新春紅白歌合戦	2020年 1月28日	34名
節分	2020年 2月 3日	35名
鯨祭り（寿司店による出張寿司）	中止	
さくら祭り	2020年 3月27日	34名
合計		664名

5 地域包括支援センター事業の運営

取手市内の第2圏域内（稲、野々井、井野台三～五丁目、駒場、新町、寺田、中原町、西、白山、本郷）に居住する高齢者を対象に、以下の事業を

実施しました。

## (1) 包括的支援事業

### ①介護予防ケアマネジメント

介護予防ケアプランを作成し、プランに基づき地域支援事業を行いました。

- ・総合事業サービス（通所型・訪問型） 803名（国保連請求数）
- ・元気ハツラツ教室 8名（実利用者数）
- ・その他一般介護予防支援事業への支援

### ②総合相談・支援

相談対応及び専門的・継続的な相談支援や実施に当たって必要なネットワークの構築、地域の高齢者の状況の実態把握を行いました。

- ・相談登録者数 2,427名
- ・相談件数 7,055件

### ③権利擁護

地域の民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に解決できない問題について、成年後見制度の活用促進、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応、消費者被害の防止に関する諸制度を活用し、個別及び対策会議を開催して対応しました。

- ・相談件数 1,923件
- ・成年後見制度市長申立てへの支援 4名
- ・高齢者虐待防止への支援 9名
- ・高齢者虐待に関する会議47回（個別ケース含む）
- ・成年後見に関する会議 6回
- ・消費生活セミナーの開催 1回（26名参加）

### ④包括的・継続的ケアマネジメント支援

包括的、継続的なケア体制の構築、地域における介護支援専門員のネットワークの構築・活用、介護支援専門員に対する日常的個別指導相談、地域の介護支援専門員が抱える支援困難事例等への指導・助言を行いました。

- ・相談件数 3,050件
- ・困難ケース同行、会議等参加 110回
- ・介護事業所職員との意見交換会 1回（29名参加）
- ・個別事例検討の実施 1回（介護等専門職員向け13名参加）



⑤生活支援体制整備事業

地域住民と話し合いを重ね、多様な日常生活上の必要な支援体制の整備強化及び高齢者の社会参加のための協議会を開催しました。

- ・地域支え合いづくり推進協議会等 3回
- ・地域住民との話し合い 5回
- ・地域商店街訪問 43回

(2) 介護予防支援業務

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービスを適切に利用することができるように、介護予防サービス計画の作成やサービス等の提供が確保されるように事業者等の関係機関との連絡調整を行いました。

- ・介護予防支援関係 745件

(3) その他

①高齢者の実態把握に関する事業

事前に把握している圏域にお住まいの高齢者のご自宅に訪問し、実態把握に関する調査を行い、必要に応じて対応を図りました。

- ・対象高齢者数 576名

②介護予防に関する普及啓発を行う事業

介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するため、パンフレット等の作成及び配布、有識者等による講演会や相談会等の開催など、市が介護予防の普及啓発として効果があると認める事業を行いました。

- ・健康教育 11回
- ・げんきサロン、ふれあいサロン、高齢者クラブへの訪問 28回

③介護予防に関する活動を行うボランティア等の人材育成並びに介護予防に資する地域活動を行う組織の育成及び支援を行う事業

- ・認知症サポーター養成講座 2回
- ・認知症についての講話 6回
- ・認知症サポーターステップアップ養成講座 1回

④介護予防に関する事業に係る評価を行う事業及び介護保険法に規定する任意事業

- ・配食サービス実態把握事業 21件

#### ⑤認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とした事業を行いました。

対象者 7名

- ・認知症初期集中支援チーム員会議 17回  
(構成メンバー：医師，保健師，主任介護支援専門員)
- ・チーム医師同行訪問 2回
- ・医療機関等への受診同行 10回

#### ⑥地域ケア会議推進事業

- ・地域ケア会議 27回

#### ⑦その他の事業

地域連携専門職向け研修会を開催しました。

「ファシリテーション入門」 29名参加

### 6 職員の処遇改善

#### (1) 人事考課

職員がそれぞれ1年間の具体的な業務や、自己啓発に関する目標を上司を交え立案し、期首・期中・期末にそれぞれ面談を行い、目標に対して評価を行いました。

#### (2) 職員教育制度の充実

職員教育制度を充実させ、サービス提供者としてふさわしい職員となるための教育プログラムを実施しました。また、他の先進施設への実務研修や勉強会等の拡充、外部研修会（事例発表）等への参加を通じ、看護・介護・リハビリ等のスタッフ間で技能向上に努めた交流を行いました。

#### <施設内研修（職員対象・勉強会等を含む）>

研修内容	参加人数
職員研修（就業規則，関係法令，倫理規定，処遇改善）	15名
人事考課と給与体系について	17名
栄養マネジメントについて	16名
老人保健施設の薬の知識と管理について	19名
老人保健施設のリハビリテーションについて	15名

感染症と対策について（外部講師）	24名
パーソンセンタードケアについて	16名
認知症について（外部講師）	25名
認知症のリハビリについて	23名
成年後見制度の活用について	19名
リスクマネジメントについて	19名
高齢者の排泄について	18名
口腔ケアについて	18名
皮膚トラブルと褥瘡管理について（外部講師）	21名
R4システムについて	20名
R4システム及びA-4について	43名
地域包括ケアシステムにおける在宅サービスの役割について	12名
介護現場での看取り（エンゼルケア）について	22名
災害対策と非常食について	25名
通所リハビリテーションの役割について	18名
身体拘束の排除について	18名
ベッドの離床センサーの使用目的及び設置基準について	18名
高齢者のフィジカルトレーニングについて	18名
非常災害時の対応について	15名
口腔ケアについて（外部講師）	15名
アルコール依存症について（産業医）	22名
容態急変時の対応について	18名
在宅復帰支援と地域連携について	14名
嚥下障害と嚥下訓練について	14名
看取りについて	14名
働き方改革関連法・処遇改善・36協定について	70名
施設内研修合計	641名

<職員外部研修>

研修内容	研修回数	参加者数
利用者へのサービス向上関係	3回	6名
給食，栄養関係	4回	4名
専門職の技術向上関係	37回	50名
研究発表会	1回	3名
施設管理，運営向上	1回	3名
外部研修合計	46回	66名

### (3) 健康管理部による健康管理の徹底

介護施設で働く職員環境の改善や職員の健康管理を目的に、下記項目を実施して、職員の健康管理に努めました。

#### ①健康管理活動

- ・定期健康診断

第1回：2019年5月～6月に実施

第2回：2019年11月～12月に実施（夜勤従事者）

- ・産業医による保健指導及び健康相談を毎月第2金曜日に実施しました。
- ・職員ストレスチェックを2019年10月に実施しました。

#### ②教育活動

- ・産業医によるセミナーを2020年2月に実施しました。

#### ③健康づくり活動

- ・職員への健康セミナー参加等推進活動及び各種勉強会への参加（内部・外部研修会への参加）を推進しました。

#### ④サービス向上及び処遇改善会議等

会議等の名称	参加職種	実施状況	会議等の主な内容
管理職戦略会議	施設長，事務長，課長，課長補佐，係長	1回／月	施設運営上の戦略会議
運営委員会	各職種の主任以上及び代表者	1回／月	①業務上の問題点の検討及び改善 ②月例決算状況の把握
安全・衛生委員会	施設長（医師），事務長，看護職，介護職，療法職，支援相談員，管理栄養士，介護支援専門員	1回／月	安全衛生に関する検討会 ①事故防止対策 ②感染症対策 ③身体拘束廃止 ④苦情クレーム対応 ⑤内部・外部評価の実施 ⑥問題点の把握及び改善
職員安全・衛生委員会	産業医，各係長以上	1回／月	職員の健康管理対策
ターミナルケア委員会	医師，事務長，各係長以上及びターミナル委員	随時	ターミナルケアの向上及びターミナルケア対象者への対応に関する会議

新聞広報委員会	施設長, 事務長, 各職種代表者	1回/月	緑寿荘だより(広報誌)やホームページでの広報活動の企画・原案作成及びホームページの運営
看護介護課会議	①リーダー・主任会議	1回/月	①業務上の問題点の改善要望等の把握
	②各種委員会会議	1回/月	②リスク・衛生・ケアサービス・レクリエーション・記録等の各グループ担当によるサービス向上を目的とした検討会
	③看護会議	1回/月	③看護職の業務上の問題点の検討及び改善
	④栄養管理会議	1回/月	④施設での給食提供に関する改善検討
	⑤R4プロジェクト会議	1回/月	⑤R4システム運用に関する検討
サービス担当者会議	医師, 事務長, 看護職, 介護職, 療法職, 支援相談員, 管理栄養士, 介護支援専門員	1回/週	①利用予定者の入所判定・退所判定 ②入所者の定期的なケアサービスの検討
ケア提供改善プロジェクト会議	施設長, 事務長, 各職種代表者	1回/週	ケア提供全体の改善及び必要な修繕・物品購入等の検討実施
ベッドコントロール会議	各職種代表者	1回/週	ご利用予定者様のベッドコントロール会議
通所事業所会議	①担当者会議	随時	①ご利用者様へのサービス提供内容を確認するため, ご本人・ご家族・担当ケアマネージャー等が集まり適切なサービスを提供しているか確認するもの
	②業務会議	1回/隔週	②通所業務のサービス向上を目的に行うもの
	③運営会議	1回/隔週	③利用率の向上を図るための運営会議

	④ケア会議 ⑤運転会議	1回/週 1回/月	④ご利用者様のケアプランの見直し等を行うもの ⑤送迎を無事故で行うための安全確認会議
地域包括月例会議	センター長，センター職員	1回/月	毎月の事業の進捗状況の確認及び翌月の事業の計画
居宅介護支援事業所月例会議	管理者，主任介護支援専門員，介護支援専門員	1回/月	①業務状況の確認 ②毎月の給付管理状況の確認及びご利用者様のケアプランの確認
各事業所連携会議	各事業所責任者	1回/月	施設・地域包括・居宅事業所の連携強化のための会議

7 広報誌「緑寿荘だより」内容及び内部（自己）・外部（ご利用者様）評価の公開

発行月	主な内容	発行部数
春号 (4月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度緑寿荘の取組み</li> <li>・2018年度通所リハビリテーション満足度調査（外部評価）</li> <li>・緑寿荘でのリハビリテーションの説明と取組</li> <li>・茨城県老人保健施設大会研究発表会</li> </ul>	500部
夏号 (8月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の行事紹介</li> <li>・2019年度食事満足度調査集計報告（外部評価）</li> <li>・2018年度苦情クレームレポート集計報告（外部評価）</li> <li>・リハビリ体操の紹介</li> <li>・2018年度緑寿荘からの転院症例（内部評価）</li> <li>・寄付金報告</li> </ul>	500部
冬号 (12月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国老人保健施設大会研究発表報告</li> <li>・家族会アンケート報告（外部評価）</li> <li>・夏まつり参加者アンケート報告（外部評価）</li> <li>・2018年度認知症短期集中リハビリ評価表集計報告（内部評価）</li> <li>・敬老会開催報告</li> <li>・寄付金報告</li> </ul>	500部

新春号 (1月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長新年挨拶及び抱負</li> <li>・家族会アンケート報告（外部評価）</li> <li>・2018年度アクシデント発生集計報告（内部評価）</li> <li>・2018年度苦情クレーム集計報告（外部評価）</li> <li>・家族会開催報告</li> <li>・人事異動職員及び新人職員紹介</li> <li>・冬まつり実施報告</li> <li>・寄付金報告</li> </ul>	500部
-------------	---	------

## 8 高齢者の公衆衛生に関する指導相談事業等

### (1) 「緑寿荘セミナー」の開催

健康的で、できる限り要介護状態にならないために、当施設の施設長（医師）が中心となって健康維持に関する各種講座を開催し、地域高齢者へ健康維持の啓発活動を下記のとおり行いました。

実施日	テーマ	実施会場	参加人数
第1回緑寿荘セミナー 2019年8月4日	施設内での生活について	取手市介護老人保健施設緑寿荘	85名
第2回緑寿荘セミナー 2019年12月15日	災害時非常食について	取手市介護老人保健施設緑寿荘	101名
合計			186名

### (2) 「きらり笑顔教室」の開催

取手市からの介護予防受託事業で、運動機能の向上、栄養改善、閉じこもりの予防、口腔ケア等に関する講習会を専門家（医師・管理栄養士・療法士等）の指導のもと実施しました。

実施月	テーマ	実施会場	参加人数
6月度 (1回開催)	・体力測定	福祉交流センター	29名
7月度 (1回開催)	・認知症予防	福祉交流センター	25名
8月度 (3回開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動機能向上</li> <li>・栄養（低栄養・脱水）</li> <li>・口腔機能、口腔ケア</li> </ul>	福祉交流センター	63名
9月度 (2回開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症予防</li> <li>・運動機能向上</li> </ul>	福祉交流センター	45名

11月度 (2回開催)	・閉じこもり, うつ ・認知症予防	福祉交流センター	38名
12月度 (1回開催)	・体力測定	福祉交流センター	21名
合計			221名

(3) 「元気ハツラツ教室 (運動機能維持向上教室)」の開催

取手市からの介護予防受託事業で, 主に運動機能の向上を目的として専門家 (療法士) の指導のもと実施しました。

実施月	実施回数	実施会場	参加人数
4月度	4回	福祉交流センター	56名
5月度	4回	〃	43名
6月度	4回	〃	46名
7月度	5回	〃	47名
8月度	4回	〃	34名
9月度	4回	〃	40名
10月度	2回	〃	18名
11月度	4回	〃	42名
12月度	3回	〃	30名
1月度	4回	〃	40名
2月度	3回	〃	31名
3月度	中止		
合計	41回		427名

(4) 「認知症予防セミナー」の開催

取手市民向けに認知症理解の啓発活動と認知症予防のための学習及び運動リハビリを実施しました。

実施日	内容	参加人数
2019年 4月13日	・認知症予防講義 ・脳の健康診断 (ファイブコグによる個別認知機能検査の実施) ・オリエンテーション	34名
2019年 6月 7日	・認知症予防運動療法 ・記憶に関するグループ学習	30名



2019年 8月 9日	・認知症予防運動療法 ・オレンジカフェ	25名
2019年 9月13日	・認知症予防運動療法 ・注意に関するグループ学習	28名
2019年11月22日	・認知症予防運動療法 ・思考に関するグループ学習	24名
2019年12月20日	・認知症予防運動療法 ・オレンジカフェ	29名
2020年 1月17日	・認知症予防運動療法 ・視空間認知に関するグループ学習	29名
2020年 3月13日	中止	
合計		199名

(5) 生涯学習出前講座

実施日	テーマ	実施場所	参加人数
2019年10月9日	認知症予防に役立つ基礎知識 生活習慣と運動習慣	いきいきプラザ	48名

II その他の事業

居宅介護支援事業

高齢者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して、支援を行ってまいりました。

(1) 多様化する居宅介護支援事業所としての各種対応

- ①高齢者福祉サービスの相談窓口として、各種サービスの紹介・取次ぎ申請代行等を行ってまいりました。
- ②毎週水曜日に各介護支援専門員のケース情報を共有し、いつでもバックアップを行えるチームケアの体制を構築してまいりました。
- ③24時間の相談体制により、ご利用様が安心して在宅での生活が継続できるようにしてまいりました。

(2) 多様なニーズを持つご利用者様に対応できる介護支援専門員の育成

- ①計画的な事業所内研修の実施により、個々の知識と援助技術を深めてまいりました。

②各種研修会等へ積極的に参加し、地域の介護支援情報の把握・介護保険制度の変化等の情報を収集し、適切な援助を行えるようにしてまいりました。

### Ⅲ 理事会，評議員会等に関すること

会議名	日時	場所等	協議事項
監査	R1. 5. 8 PM1:30 より	緑寿荘会議室	○ 平成30年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団決算監査を実施
理事会 (第1回)	R1. 5. 9 PM2:00 より	緑寿荘会議室	○ 平成30年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業報告及び決算書類等の承認について(原案可決) ○ 2019年度第1回評議員会の開催について(原案可決)
理事会 (第2回)	R1. 5. 28 PM1:00 より	緑寿荘会議室	○ 監事の選任について(報告) ○ 理事長の選任について(原案可決) ○ 常務理事の選任について(原案可決)
理事会 (第3回)	R1. 11. 18 PM7:00 より	緑寿荘会議室	○ 2019年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団半期の決算状況について(報告) ○ 2019年度第2回評議員会の開催について(原案可決)
理事会 (第4回)	R2. 3. 23 PM7:00 より	緑寿荘第2厚生室	○ 2020年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画について(原案可決) ○ 2020年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について(原案可決) ○ 2019年度第3回評議員会の開催について(原案可決)
評議員会 (第1回)	R1. 5. 24 PM6:00 より	緑寿荘会議室	○ 平成30年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業報告について(報告) ○ 平成30年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団決算書類等の承認について(原案可決) ○ 理事の任期満了に伴う改選について(原案可決) ○ 監事の辞任について(報告) ○ 監事の選任について(原案可決)

評議員会 (第2回)	R1. 11. 25 PM6:00 より	緑寿荘会議室	○ 2019年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団半期の決算状況について (報告)
評議員会 (第3回)	R2. 3. 25 PM6:00 より	緑寿荘第2厚生室	○ 2020年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画の承認について (原案可決) ○ 2020年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について (原案可決) ○ 評議員の辞任について (報告) ○ 評議員の選任について (原案可決)

#### IV 会計に関すること

##### <介護老人保健施設会計>

建物更新及び設備の維持のための財源の積立て及び管理

##### <地域包括支援センター会計>

地域包括支援センターに関する会計管理

##### <居宅介護支援会計>

居宅介護支援事業所に関する会計管理

##### <法人会計>

理事会, 評議員会, 公益法人の運営管理

## 2019年度緑寿荘利用状況

月	利用形態	運営日数	延べ利用者数	日平均利用者数	入所者数	退所者数	通所(平日)稼働率	通所(土)稼働率	入所稼働率(短期含)	在宅復帰率	入所の平均年齢	利用者内訳							
												取手市民				その他			
												男	女	計	%	男	女	計	%
4月	入所	30	2,366	78.9	10	11	67.5%	72.5%	86.0%	81.8%	84.6	17	51	68	80.0%	5	12	17	20.0%
	ショート	30	213	7.1	36	33						8	13	21	84.0%	0	4	4	16.0%
	通所(平日)	22	742	33.7								32	50	82	94.3%	1	4	5	5.7%
	通所(土)	4	58	14.5															
	合計											57	114	171	86.8%	6	20	26	13.2%
5月	入所	31	2,344	75.6	11	11	67.9%	78.8%	82.7%	81.8%	84.9	17	53	70	82.4%	5	10	15	17.6%
	ショート	31	219	7.1	37	39						7	12	19	86.4%	0	3	3	13.6%
	通所(平日)	23	781	34.0								30	50	80	93.0%	1	5	6	7.0%
	通所(土)	4	63	15.8															
	合計											54	115	169	87.6%	6	18	24	12.4%
6月	入所	30	2,264	75.5	8	9	70.7%	80.0%	80.7%	55.6%	85.1	15	51	66	81.5%	4	11	15	18.5%
	ショート	30	158	5.3	30	32						7	12	19	86.4%	0	3	3	13.6%
	通所(平日)	20	707	35.4								32	52	84	92.3%	1	6	7	7.7%
	通所(土)	5	80	16.0															
	合計											54	115	169	87.1%	5	20	25	12.9%
7月	入所	31	2,363	76.2	11	5	73.2%	83.8%	81.3%	80.0%	84.2	17	49	66	80.5%	6	10	16	19.5%
	ショート	31	157	5.1	34	32						8	10	18	90.0%	0	2	2	10.0%
	通所(平日)	22	805	36.6								31	50	81	91.0%	1	7	8	9.0%
	通所(土)	4	67	16.8															
	合計											56	109	165	86.4%	7	19	26	13.6%
8月	入所	31	2,434	78.5	10	10	71.1%	80.0%	85.3%	50.0%	84.3	16	51	67	79.8%	4	13	17	20.2%
	ショート	31	211	6.8	32	30						5	13	18	90.0%	1	1	2	10.0%
	通所(平日)	21	747	35.6								33	48	81	91.0%	1	7	8	9.0%
	通所(土)	5	80	16.0															
	合計											54	112	166	86.0%	6	21	27	14.0%
9月	入所	30	2,385	79.5	15	10	72.3%	73.8%	85.0%	70.0%	85.1	17	53	70	77.8%	4	16	20	22.2%
	ショート	30	165	5.5	27	31						7	9	16	88.9%	0	2	2	11.1%
	通所(平日)	18	651	36.2								30	49	79	91.9%	1	6	7	8.1%
	通所(土)	4	59	14.8															
	合計											54	111	165	85.1%	5	24	29	14.9%
10月	入所	31	2,476	79.9	7	11	71.5%	73.3%	84.3%	81.8%	85.8	17	47	64	76.2%	4	16	20	23.8%
	ショート	31	137	4.4	26	23						7	12	19	90.5%	0	2	2	9.5%
	通所(平日)	21	751	35.8								29	50	79	91.9%	1	6	7	8.1%
	通所(土)	3	44	14.7															
	合計											53	109	162	84.8%	5	24	29	15.2%

## 2019年度緑寿荘利用状況

月	利用形態	運営日数	延べ利用者数	日平均利用者数	入所者数	退所者数	通所(平日)稼働率	通所(土)稼働率	入所稼働率(短期含)	在宅復帰率	入所の平均年齢	利用者内訳							
												取手市民				その他			
												男	女	計	%	男	女	計	%
11月	入所	30	2,285	76.2	7	6	71.9%	65.0%	83.3%	66.7%	86.0	14	50	64	77.1%	4	15	19	22.9%
	ショート	30	215	7.2	36	39						7	11	18	90.0%	0	2	2	10.0%
	通所(平日)	19	683	35.9								28	50	78	91.8%	1	6	7	8.2%
	通所(土)	4	52	13.0															
	合計											49	111	160	85.1%	5	23	28	14.9%
12月	入所	31	2,418	78.0	13	10	67.6%	65.0%	83.8%	70.0%	85.5	14	52	66	78.6%	4	14	18	21.4%
	ショート	31	179	5.8	32	30						7	9	16	80.0%	0	4	4	20.0%
	通所(平日)	20	676	33.8								29	47	76	91.6%	1	6	7	8.4%
	通所(土)	4	52	13.0															
	合計											50	108	158	84.5%	5	24	29	15.5%
1月	入所	31	2,513	81.1	12	9	70.3%	71.7%	87.0%	55.6%	85.1	16	52	68	76.4%	4	17	21	23.6%
	ショート	31	183	5.9	29	31						3	14	17	94.4%	0	1	1	5.6%
	通所(平日)	20	703	35.2								33	47	80	92.0%	1	6	7	8.0%
	通所(土)	3	43	14.3															
	合計											52	113	165	85.1%	5	24	29	14.9%
2月	入所	29	2,354	81.2	10	9	68.6%	68.0%	86.3%	66.7%	85.5	14	52	66	75.9%	5	16	21	24.1%
	ショート	29	150	5.2	27	25						5	9	14	77.8%	0	4	4	22.2%
	通所(平日)	20	686	34.3								30	52	82	93.2%	1	5	6	6.8%
	通所(土)	5	68	13.6															
	合計											49	113	162	83.9%	6	25	31	16.1%
3月	入所	31	2,556	82.5	10	7	64.1%	65.0%	86.9%	42.9%	86.4	15	52	67	74.4%	4	19	23	25.6%
	ショート	31	139	4.5	23	26						2	8	10	90.9%	0	1	1	9.1%
	通所(平日)	22	705	32.0								26	48	74	92.5%	1	5	6	7.5%
	通所(土)	4	52	13.0															
	合計											43	108	151	83.4%	5	25	30	16.6%
年間延べ数	入所	366	28,758		124	108						189	613	802		53	169	222	
	ショート	366	2,126		369	371						73	132	205		1	29	30	
	通所(平日)	248	8,637									363	593	956		12	69	81	
	通所(土)	49	718																
	合計											625	1338	1963	85.5%	66	267	333	14.5%
年間平均	入所	30.5	2,396.5	78.6	10.3	9.0	69.7%	73.1%	84.4%	67.6%	85.2	15.8	51.1	66.8	78.3%	4.4	14.1	18.5	21.7%
	ショート	30.5	177.2	5.8	30.8	30.9						6.1	11.0	17.1	87.2%	0.1	2.4	2.5	12.8%
	通所(平日)	20.7	719.8	34.8								30.3	49.4	79.7	92.2%	1.0	5.8	6.8	7.8%
	通所(土)	4.1	59.8	14.7															
	合計											52.1	111.5	163.6	85.5%	5.5	22.3	27.8	14.5%

## 2019年度 居宅介護支援事業所緑寿荘 相談実績及び介護保険利用者実績

2020年3月末日現在 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	訪問	233	212	206	200	187	226	207	202	198	190	199	178	2,438
	来所	14	12	8	3	17	7	9	0	6	4	4	6	90
	電話	165	167	145	160	145	152	164	136	136	108	113	139	1,730
	その他	56	64	52	40	31	28	33	35	22	19	25	18	423
	合計	468	455	411	403	380	413	413	373	362	321	341	341	4,681
認定区分別対象者	支援1	18	19	19	18	18	18	17	17	18	19	20	19	220
	支援2	28	26	25	24	24	25	23	23	23	21	20	20	282
	事業対象者	6	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	6	61
	計	52	50	49	46	47	48	45	45	46	45	45	45	563
	介護度1	84	80	74	76	75	75	74	76	79	79	74	73	919
	介護度2	33	30	30	31	32	43	45	48	46	47	49	44	478
	介護度3	18	21	23	25	25	25	22	21	20	20	20	20	260
	介護度4	9	13	14	11	9	8	9	7	7	8	6	5	106
	介護度5	10	9	8	8	8	8	9	10	10	9	9	8	106
	計	154	153	149	151	149	159	159	162	162	163	158	150	1,869
合計	206	203	198	197	196	207	204	207	208	208	203	195	2,432	

# 2019年度 地域包括支援センター相談業務年間実績報告書

(単位:人)

項目		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	来 所		121	129	131	152	142	87	99	118	163	148	123	114	1,527
	電 話		652	570	567	678	593	564	679	531	613	602	625	440	7,114
	訪 問		390	337	323	387	425	255	382	297	348	365	392	331	4,232
	合 計		1,163	1,036	1,021	1,217	1,160	906	1,160	946	1,124	1,115	1,140	885	12,873
相談者の区分	本 人		214	208	232	259	267	182	215	142	155	194	190	133	2,391
	家 族		137	169	191	233	228	232	212	247	270	224	246	177	2,566
	介護支援専門員		399	338	301	388	296	235	360	269	337	358	357	321	3,959
	介護サービス事業所職員		84	85	67	93	107	86	82	72	76	113	81	87	1,033
	行政関係者		135	128	100	99	114	75	136	94	109	114	92	61	1,257
	関係機関		125	62	96	109	89	71	100	80	111	68	42	72	1,025
	民生委員		41	30	18	23	44	12	30	34	44	24	3	30	333
	近隣・知人		28	16	16	13	15	13	25	8	22	20	29	4	209
	合 計		1,163	1,036	1,021	1,217	1,160	906	1,160	946	1,124	1,115	1,040	885	12,773
相談内容	第一号介護予防支援事業		92	74	64	70	104	57	62	83	40	32	17	50	745
	虐待・権利擁護		231	231	203	159	181	123	213	95	149	139	116	83	1,923
	包括的・継続的ケアマネジメント		268	256	247	304	278	173	273	221	309	237	246	238	3,050
	認知症に関すること		68	40	44	44	25	35	47	62	79	76	72	46	638
	介護保険に関すること		242	213	195	284	244	237	239	223	260	347	322	215	3,021
	高齢福祉に関すること		234	204	240	329	320	251	310	248	268	273	255	243	3,175
	その他		28	18	28	27	8	30	16	14	19	11	12	10	221
	合 計		1,163	1,036	1,021	1,217	1,160	906	1,160	946	1,124	1,115	1,040	885	12,773

## 2019年度 地域包括支援センター相談登録者数

(単位:人)

人 数 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月登録数	2,065	2,072	2,217	2,250	2,275	2,301	2,325	2,345	2,345	2,366	2,402	2,419
新規相談者数	7	145	33	25	26	24	20	21	38	36	17	8
登録者合計	2,072	2,217	2,250	2,275	2,301	2,325	2,345	2,366	2,383	2,402	2,419	2,427

## 2019年度 地域包括支援センター研修実績

(単位:回)

研 修 内 容	参加回数
地域ケアシステム関係	7
認知症関係	13
権利擁護関係	7
介護保険・福祉制度関係	3
ケアマネジメント等関係	19
合 計	49



2019年度

決 算 報 告 書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

公益財団法人取手市健康福祉医療事業団

介 護 老 人 保 健 施 設 会 計  
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 会 計  
居 宅 介 護 支 援 事 業 所 会 計  
法 人 会 計

貸借対照表  
2020年3月31日現在  
(総括表)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	511,309	636,276	△ 124,967
普通預貯金	74,429,880	97,110,361	△ 22,680,481
定期預貯金	25,558,178	5,558,178	20,000,000
立替金	520,126	603,453	△ 83,327
医業未収金	88,971,417	87,486,302	1,485,115
未収金	10,264,416	7,564,903	2,699,513
前払金	152,790	150,000	2,790
貸倒引当金	△ 504,039	△ 554,863	50,824
他会計へ配賦	57,984,632	56,111,321	1,873,311
流動資産合計	257,888,709	254,665,931	3,222,778
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預貯金	35,000,000	35,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
建物更新引当預貯金	391,731,176	367,608,176	24,123,000
建物設備維持引当預貯金	121,736,898	130,779,898	△ 9,043,000
退職給付引当預貯金	20,027,914	20,024,877	3,037
建物	994,600,836	1,054,373,231	△ 59,772,395
特定資産合計	1,528,096,824	1,572,786,182	△ 44,689,358
(3) その他の固定資産			
構築物	1,893,377	2	1,893,375
什器備品	2,956,902	3,382,624	△ 425,722
車両	4,634,713	7,385,203	△ 2,750,490
医療用器械	19,295,356	20,135,141	△ 839,785
その他の器械	294,848	440,648	△ 145,800
施設利用権	644,088	893,409	△ 249,321
ソフトウェア	302,338	2	302,336
長期貸付金	0	99,920	△ 99,920
その他の固定資産合計	30,021,622	32,336,949	△ 2,315,327
固定資産合計	1,593,118,446	1,640,123,131	△ 47,004,685
資産合計	1,851,007,155	1,894,789,062	△ 43,781,907
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	22,408,373	25,297,137	△ 2,888,764
仮受金	15,620	23,760	△ 8,140
賞与引当金	24,762,028	24,824,672	△ 62,644
職員預り金	1,577,221	1,480,465	96,756
法人税等充当金	419,600	534,300	△ 114,700
他会計から配賦	57,984,632	56,111,321	1,873,311
流動負債合計	107,167,474	108,271,655	△ 1,104,181
2. 固定負債			
退職給付引当金	82,907,619	64,070,527	18,837,092
固定負債合計	82,907,619	64,070,527	18,837,092
負債合計	190,075,093	172,342,182	17,732,911
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	291,590,059	304,380,569	△ 12,790,510
寄付金	35,000,000	35,000,000	0
指定正味財産合計	326,590,059	339,380,569	△ 12,790,510
(うち基本財産への充当額)	(35,000,000)	(35,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(291,590,059)	(304,380,569)	(△12,790,510)
2. 一般正味財産	1,334,342,003	1,383,066,311	△ 48,724,308
(うち特定資産への充当額)	(1,236,506,765)	(1,268,405,613)	(31,898,848)
一般正味財産合計	1,334,342,003	1,383,066,311	△ 48,724,308
正味財産合計	1,660,932,062	1,722,446,880	△ 61,514,818
負債及び正味財産合計	1,851,007,155	1,894,789,062	△ 43,781,907

# 貸借対照表（内訳表）

2020年3月31日現在

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計		収益事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	介護老人保健施設会計	地域包括支援センター会計	収益事業	その他事業 居宅介護支援事業所会計			
<b>I 資産の部</b>							
<b>1. 流動資産</b>							
現金	406,570	104,739	0	0	0	0	511,309
普通預貯金	26,002,775	2,600,654	0	12,606,446	33,220,005	0	74,429,880
定期預貯金	25,558,178	0	0	0	0	0	25,558,178
立替金	10,704,465	0	0	0	0	△ 10,184,339	520,126
医業未収金	84,006,548	0	0	4,964,869	0	0	88,971,417
未収金	27,000	9,620,535	0	616,881	0	0	10,264,416
前払金	0	152,790	0	0	0	0	152,790
仮払金	0	0	0	0	0	0	0
短期貸付金	18,635,939	0	0	0	0	△ 18,635,939	0
貸倒引当金	△ 504,039	0	0	0	0	0	△ 504,039
他会計へ配賦	33,250,276	23,805,569	0	952,910	△ 24,123	0	57,984,632
流動資産合計	198,087,712	36,284,287	0	19,141,106	33,195,882	△ 28,820,278	257,888,709
<b>2. 固定資産</b>							
<b>(1) 基本財産</b>							
基本財産引当預貯金	35,000,000	0	0	0	0	0	35,000,000
基本財産合計	35,000,000	0	0	0	0	0	35,000,000
<b>(2) 特定資産</b>							
建物更新引当預貯金	385,071,747	0	0	6,267,698	391,731	0	391,731,176
建物設備維持引当預貯金	121,736,898	0	0	0	0	0	121,736,898
退職給付引当預貯金	20,027,914	0	0	0	0	0	20,027,914
建物	977,692,622	0	0	15,913,613	994,601	0	994,600,836
特定資産合計	1,504,529,181	0	0	22,181,311	1,386,332	0	1,528,096,824
<b>(3) その他の固定資産</b>							
構築物	1,861,190	0	0	30,294	1,893	0	1,893,377
什器備品	2,896,421	1	0	60,480	0	0	2,956,902
車両	4,634,712	0	0	1	0	0	4,634,713
医療用器械	19,295,356	0	0	0	0	0	19,295,356
その他の器械	294,848	0	0	0	0	0	294,848
施設利用権	644,088	0	0	0	0	0	644,088
ソフトウェア	302,338	0	0	0	0	0	302,338
長期貸付金	0	0	0	0	0	0	0
その他の固定資産合計	29,928,953	1	0	90,775	1,893	0	30,021,622
固定資産合計	1,569,458,134	1	0	22,272,086	1,388,225	0	1,593,118,446
資産合計	1,767,545,846	36,284,288	0	41,413,192	34,584,107	△ 28,820,278	1,851,007,155
<b>II 負債の部</b>							
<b>1. 流動負債</b>							
未払金	19,849,260	12,343,389	0	392,000	8,063	△ 10,184,339	22,408,373
仮受金	15,620	0	0	0	0	0	15,620
賞与引当金	21,087,008	1,830,468	0	1,831,772	12,780	0	24,762,028
職員預り金	1,568,041	0	0	0	9,180	0	1,577,221
短期借入金	0	0	0	14,328,614	4,307,325	△ 18,635,939	0
法人税等充当金	0	0	0	419,600	0	0	419,600
他会計から配賦	24,850,222	25,354,262	0	6,065,006	1,715,142	0	57,984,632
流動負債合計	67,370,151	39,528,119	0	23,036,992	6,052,490	△ 28,820,278	107,167,474
<b>2. 固定負債</b>							
退職給付引当金	79,579,904	3,114,450	0	0	213,265	0	82,907,619
固定負債合計	79,579,904	3,114,450	0	0	213,265	0	82,907,619
負債合計	146,950,055	42,642,569	0	23,036,992	6,265,755	△ 28,820,278	190,075,093
<b>III 正味財産の部</b>							
<b>1. 指定正味財産</b>							
地方公共団体補助金	291,590,059	0	0	0	0	0	291,590,059
寄付金	35,000,000	0	0	0	0	0	35,000,000
指定正味財産合計	326,590,059	0	0	0	0	0	326,590,059
（うち基本財産への充当額）	(35,000,000)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(35,000,000)
（うち特定資産への充当額）	(291,590,059)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(291,590,059)
<b>2. 一般正味財産</b>							
（うち特定資産への充当額）	1,294,005,732	△ 6,358,281	0	18,376,200	28,318,352	0	1,334,342,003
（うち特定資産への充当額）	(1,236,506,765)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1,236,506,765)
一般正味財産合計	1,294,005,732	△ 6,358,281	0	18,376,200	28,318,352	0	1,334,342,003
正味財産合計	1,620,595,791	△ 6,358,281	0	18,376,200	28,318,352	0	1,660,932,062
負債及び正味財産合計	1,767,545,846	36,284,288	0	41,413,192	34,584,107	△ 28,820,278	1,851,007,155

# 正味財産増減計算書

( 総 括 表 )

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,504	3,500	4
基本財産利息	3,504	3,500	4
特定資産運用益	52,917	48,416	4,501
事業収益	618,069,750	611,579,712	6,490,038
介護保健施設介護料収益	356,779,992	355,782,771	997,221
施設介護報酬収益	317,032,542	316,573,290	459,252
施設利用者負担金収益	39,747,450	39,209,481	537,969
居宅介護料収益	129,810,499	124,390,083	5,420,416
居宅介護報酬収益	114,716,423	110,204,285	4,512,138
居宅利用者負担金収益	15,094,076	14,185,798	908,278
居宅介護支援料収益	30,756,536	28,765,406	1,991,130
介護予防収益	551,202	632,584	△ 81,382
利用者等利用料収益	100,171,521	102,008,868	△ 1,837,347
介護保険施設利用料収益	21,410,857	21,457,458	△ 46,601
居宅介護サービス利用料収益	4,367,970	4,304,540	63,430
その他の利用料収益	430,000	320,000	110,000
食費収益	44,515,374	45,736,670	△ 1,221,296
居住費収益	29,447,320	30,190,200	△ 742,880
受取補助金等	45,248,481	43,029,890	2,218,591
受取市補助金	0	0	0
業務委託金	32,457,971	29,731,047	2,726,924
受取地方補助金	0	508,333	△ 508,333
受取補助金振替額	12,790,510	12,790,510	0
雑収益	1,238,243	948,238	290,005
受取利息収益	1,416	3,065	△ 1,649
雑収益	1,236,827	945,173	291,654
経常収益計 (A)	664,612,895	655,609,756	9,003,139
(2) 経常費用			
事業費	692,001,782	664,790,706	27,211,076
役員報酬	360,000	360,000	0
給与手当	311,336,856	304,455,000	6,881,856
臨時雇賃金	62,806,851	64,866,420	△ 2,059,569
退職給付費用	30,540,075	24,224,584	6,315,491
法定福利費	55,170,653	53,953,938	1,216,715
医薬品費	5,090,607	4,956,023	134,584
施設療養材料費	837,971	742,152	95,819
その他の材料費	12,855,538	13,274,848	△ 419,310
介護給付費減免	9,926,240	8,859,880	1,066,360
施設消耗器具備品費	2,062,052	1,995,684	66,368
福利厚生費	2,352,890	2,083,422	269,468
旅費交通費	329,484	205,020	124,464
職員被服費	911,759	904,038	7,721
通信費	1,615,479	1,677,797	△ 62,318
消耗品費	6,460,221	5,136,105	1,324,116
消耗器具備品費	702,229	455,153	247,076
会議費	10,732	10,000	732
車両費	2,094,110	2,110,472	△ 16,362
接待交際費	6,480	2,127	4,353
光熱水費	22,832,703	23,273,864	△ 441,161
修繕費	17,289,300	7,782,106	9,507,194
印刷製本費	154,980	60,480	94,500
賃借料	16,820,776	18,062,487	△ 1,241,711
保険料	1,136,699	1,044,949	91,750
租税公課	322,350	105,500	216,850
雑費	1,440,720	1,158,089	282,631
委託費	71,059,359	69,513,323	1,546,036
研修費	896,679	854,961	41,718
減価償却費	54,294,121	52,519,824	1,774,297
雑損	334,692	110,000	224,692
貸倒引当金繰入	504,039	554,863	△ 50,824

# 正味財産増減計算書

( 総 括 表 )

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
貸倒引当金戻入	△ 554,863	△ 522,403	△ 32,460
管理費	1,548,614	1,563,149	△ 14,535
役員報酬	285,000	250,000	35,000
給与手当	132,826	133,508	△ 682
退職給付費用	23,017	9,884	13,133
法定福利費	19,911	19,640	271
旅費交通費	96,000	84,000	12,000
通信費	0	0	0
光熱水費	22,189	22,657	△ 468
修繕費	14,932	0	14,932
保険料	281	281	0
租税公課	1,200	2,000	△ 800
雑費	400	0	400
委託費	456,342	401,532	54,810
会議費	36,946	47,208	△ 10,262
接待交際費	115,866	146,238	△ 30,372
諸会費	296,790	341,790	△ 45,000
減価償却費	46,914	104,411	△ 57,497
経常費用計 (B)	693,550,396	666,353,855	27,196,541
当期経常増減額 (A - B)	△ 28,937,501	△ 10,744,099	△ 18,193,402
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	19,367,207	1	19,367,206
固定資産除去損	19,367,207	1	19,367,206
他会計振替額	0	0	0
法人税等充当額	419,600	534,300	△ 114,700
当期一般正味財産増減額	△ 48,724,308	△ 11,278,400	△ 37,445,908
一般正味財産期首残高	1,383,066,311	1,394,344,711	△ 11,278,400
一般正味財産期末残高	1,334,342,003	1,383,066,311	△ 48,724,308
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 12,790,510	△ 12,790,510	0
当期指定正味財産増減額	△ 12,790,510	△ 12,790,510	0
指定正味財産期首残高	339,380,569	352,171,079	△ 12,790,510
指定正味財産期末残高	326,590,059	339,380,569	△ 12,790,510
III 正味財産期末残高	1,660,932,062	1,722,446,880	△ 61,514,818

正味財産増減計算書（内訳表）

2019年4月1日から2020年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	介護老人保健 施設会計	地域包括支援 センター会計	収益 事業	その他事業			
				居宅介護支援 事業所会計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	0	3,504	0	3,504
基本財産利息	0	0	0	0	3,504	0	3,504
特定資産運用益	52,917	0	0	0	0	0	52,917
事業収益	586,762,012	551,202	0	30,756,536	0	0	618,069,750
介護保健施設介護料収益	356,779,992	0	0	0	0	0	356,779,992
施設介護報酬収益	317,032,542	0	0	0	0	0	317,032,542
施設利用者負担金収益	39,747,450	0	0	0	0	0	39,747,450
居宅介護料収益	129,810,499	0	0	0	0	0	129,810,499
居宅介護報酬収益	114,716,423	0	0	0	0	0	114,716,423
居宅利用者負担金収益	15,094,076	0	0	0	0	0	15,094,076
居宅介護支援料収益	0	0	0	30,756,536	0	0	30,756,536
介護予防収益	0	551,202	0	0	0	0	551,202
利用者等利用料収益	100,171,521	0	0	0	0	0	100,171,521
介護保険施設利用料収益	21,410,857	0	0	0	0	0	21,410,857
居宅介護サービス利用料収益	4,367,970	0	0	0	0	0	4,367,970
その他の利用料収益	430,000	0	0	0	0	0	430,000
食費収益	44,515,374	0	0	0	0	0	44,515,374
居住費収益	29,447,320	0	0	0	0	0	29,447,320
受取補助金等	14,094,510	28,528,380	0	2,625,591	0	0	45,248,481
業務委託金	1,304,000	28,528,380	0	2,625,591	0	0	32,457,971
受取地方補助金	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金振替額	12,790,510	0	0	0	0	0	12,790,510
雑収益	968,020	17,028	0	143,195	110,000	0	1,238,243
受取利息収益	1,364	28	0	24	0	0	1,416
雑収益	966,656	17,000	0	143,171	110,000	0	1,236,827
経常収益計（A）	601,877,459	29,096,610	0	33,525,322	113,504	0	664,612,895
(2) 経常費用							
事業費	630,754,301	31,533,156	0	29,714,325	0	0	692,001,782
役員報酬	349,200	5,400	0	5,400	0	0	360,000
給与手当	276,329,881	17,385,300	0	17,621,675	0	0	311,336,856
臨時雇賃金	55,926,205	3,725,820	0	3,154,826	0	0	62,806,851
退職給付費用	27,212,125	2,847,950	0	480,000	0	0	30,540,075
法定福利費	49,426,919	2,653,150	0	3,090,584	0	0	55,170,653
医薬品費	5,090,607	0	0	0	0	0	5,090,607
施設療養材料費	837,971	0	0	0	0	0	837,971
その他の材料費	12,855,538	0	0	0	0	0	12,855,538
介護給付費減免	9,926,240	0	0	0	0	0	9,926,240
施設消耗器具備品費	2,062,052	0	0	0	0	0	2,062,052
福利厚生費	2,271,076	43,284	0	38,530	0	0	2,352,890
旅費交通費	203,054	103,870	0	22,560	0	0	329,484
職員被服費	814,899	44,460	0	52,400	0	0	911,759
通信費	993,245	337,651	0	284,583	0	0	1,615,479
消耗品費	5,878,892	266,814	0	314,515	0	0	6,460,221
消耗器具備品費	629,683	72,546	0	0	0	0	702,229
会議費	0	10,732	0	0	0	0	10,732
車両費	1,787,153	103,639	0	203,318	0	0	2,094,110
接待交際費	0	6,480	0	0	0	0	6,480
光熱水費	21,877,629	600,000	0	355,074	0	0	22,832,703
修繕費	16,917,741	132,000	0	239,559	0	0	17,289,300
印刷製本費	154,980	0	0	0	0	0	154,980
賃借料	12,095,792	2,711,744	0	2,013,240	0	0	16,820,776
保険料	919,608	116,353	0	100,738	0	0	1,136,699
租税公課	162,150	21,800	0	138,400	0	0	322,350
雑費	1,339,098	95,080	0	6,542	0	0	1,440,720
委託費	70,227,364	125,827	0	706,168	0	0	71,059,359
研修費	698,317	123,256	0	75,106	0	0	896,679
減価償却費	53,483,014	0	0	811,107	0	0	54,294,121
雑損	334,692	0	0	0	0	0	334,692
貸倒引当金繰入	504,039	0	0	0	0	0	504,039

正味財産増減計算書（内訳表）

2019年4月1日から2020年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	介護老人保健 施設 会 計	地域包括支援 センター会 計	取 益 事 業	そ の 他 事 業			
				居宅介護支援 事業所会 計			
貸倒引当金戻入	△ 554,863	0	0	0	0	0	△ 554,863
管理費	0	0	0	0	1,548,614	0	1,548,614
役員報酬	0	0	0	0	285,000	0	285,000
給与手当	0	0	0	0	132,826	0	132,826
退職給付費用	0	0	0	0	23,017	0	23,017
法定福利費	0	0	0	0	19,911	0	19,911
旅費交通費	0	0	0	0	96,000	0	96,000
光熱水費	0	0	0	0	22,189	0	22,189
修繕費	0	0	0	0	14,932	0	14,932
保険料	0	0	0	0	281	0	281
租税公課	0	0	0	0	1,200	0	1,200
雑費	0	0	0	0	400	0	400
委託費	0	0	0	0	456,342	0	456,342
会議費	0	0	0	0	36,946	0	36,946
接待交際費	0	0	0	0	115,866	0	115,866
諸会費	0	0	0	0	296,790	0	296,790
減価償却費	0	0	0	0	46,914	0	46,914
経常費用計（B）	630,754,301	31,533,156	0	29,714,325	1,548,614	0	693,550,396
当期経常増減額（A－B）	△ 28,876,842	△ 2,436,546	0	3,810,997	△ 1,435,110	0	△ 28,937,501
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	19,367,207	0	0	0	0	0	19,367,207
固定資産除去損	19,367,207	0	0	0	0	0	19,367,207
他会計振替額	1,872,321	0	0	△ 1,872,321	0	0	0
法人税等充当額	0	0	0	419,600	0	0	419,600
当期一般正味財産増減額	△ 46,371,728	△ 2,436,546	0	1,519,076	△ 1,435,110	0	△ 48,724,308
一般正味財産期首残高	1,340,377,460	△ 3,921,735	0	16,857,124	29,753,462	0	1,383,066,311
一般正味財産期末残高	1,294,005,732	△ 6,358,281	0	18,376,200	28,318,352	0	1,334,342,003
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	△ 12,790,510	0	0	0	0	0	△ 12,790,510
当期指定正味財産増減額	△ 12,790,510	0	0	0	0	0	△ 12,790,510
指定正味財産期首残高	339,380,569	0	0	0	0	0	339,380,569
指定正味財産期末残高	326,590,059	0	0	0	0	0	326,590,059
III 正味財産期末残高	1,620,595,791	△ 6,358,281	0	18,376,200	28,318,352	0	1,660,932,062

# 財産目録

2020年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	511,309
普通預金	常陽銀行取手支店	"	57,329,783
普通預金	常陽銀行取手支店	"	842,497
普通預金	常陽銀行取手支店	"	2,546,547
普通預金	常陽銀行取手支店	"	2,600,654
普通預金	筑波銀行取手支店	"	10,233,907
普通貯金	茨城みなみ農協寺原支店	"	226,932
普通預金	みずほ銀行取手支店	"	127,930
普通預金	筑波銀行西取手支店	"	12,013
普通預金	中央労働金庫取手支店	"	184,527
普通預金	水戸信用金庫取手支店	"	279,306
普通預金	茨城県信用組合取手支店	"	45,784
定期預金	中央労働金庫取手支店	"	5,558,178
定期預金	水戸信用金庫取手支店	"	20,000,000
立替金	委託業者光熱水費として	委託業者の立替分として	520,126
医業未収金	国保連収益として	公益目的事業の収益として	88,971,417
未収金	委託事業費として	"	10,264,416
前払金	包括会計賃借料として	4月分家賃として	152,790
貸倒引当金	施設会計利用料	公益目的事業の医業未収分として	△ 504,039
他会計へ配賦	減価償却費、建物、建物更新、建物維持	公益目的事業から収益事業、法人会計へ	57,984,632
流動資産合計			257,888,709
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	常陽銀行取手支店		10,000,000
定期預金	筑波銀行取手支店	公益目的保有財産であり運用益を公益目的事業の財源として使用している。	10,000,000
定期貯金	茨城みなみ農協寺原支店		7,000,000
定期預金	みずほ銀行取手支店		8,000,000
特定資産			
建物更新引当預貯金	定期預金		91,891,476
	常陽銀行取手支店		
	定期貯金		10,129,749
	茨城みなみ農協寺原支店		
	定期貯金		10,129,749
	茨城みなみ農協寺原支店		
	定期貯金		10,129,749
	茨城みなみ農協寺原支店		
	定期貯金		10,129,749
	茨城みなみ農協寺原支店	公益目的事業及び収益事業等の積立資産であり、建物更新引当資産として管理されている資産	10,129,749
	定期貯金		5,000,000
	茨城みなみ農協寺原支店		
	定期貯金		6,669,000
	茨城みなみ農協寺原支店		
	定期預金		70,944,328
	水戸信用金庫取手支店		
	定期預金		44,526,333
	水戸信用金庫取手支店		
	定期預金		89,507,827
	中央労働金庫取手支店		
	定期預金		32,543,467
	中央労働金庫取手支店		
建物設備維持引当預貯金	定期預金		6,526,906
	中央労働金庫取手支店		
	定期預金		42,373,334
	中央労働金庫取手支店	公益目的事業の積立資産であり、建物設備維持引当資産として管理されている資産	30,307,107
	定期預金		20,133,789
	三井住友銀行取手支店		
	定期預金		20,133,789
	みずほ銀行取手支店		



# 財産目録

2020年3月31日現在

(単位:円)

	建物設備維持引当預貯金	定期預金 みずほ銀行取手支店	公益目的事業の積立資産であり、建物設備維持引当資産として管理されている資産	5,056,794		
		定期預金 茨城県信用組合取手支店		10,127,716		
		定期預金 茨城県信用組合取手支店		7,211,252		
	退職給付引当預貯金	定期預金 茨城県信用組合取手支店 定期預金 筑波銀行西取手支店		公益目的事業の積立資産であり、退職給付引当資産として管理されている資産	9,892,052 10,135,862	
	建物	1572.63㎡ 取手市野々井1926-8		共有財産であるため、使用面積割合により、公益目的事業、収益事業、法人会計で按分している。	994,600,836	
	その他の固定資産	構築物一式		構築物(外溝・駐車場・植栽)	共有財産であるため、使用面積割合により、公益目的事業、収益事業、法人会計で按分している。	1,893,377
		什器備品一式		什器備品(ロビーソファ)	公益目的事業及び収益事業に使用	2,956,902
	車両	車両8台(特装車6台・ワゴン・ワゴンR)	公益目的事業及び収益事業に使用	4,634,713		
	医療用器械一式	医療用器械(特浴槽/ベッド)	公益目的事業で使用	19,295,356		
	その他の器械一式	その他の器械(厨房器具)		294,848		
	施設利用権	水道施設負担金		644,088		
	ソフトウェア	計算ソフト		302,338		
固定資産合計				1,593,118,446		
資産合計				1,851,007,155		
(流動負債)	未払金	非常勤職員給与	公益目的事業職員給与	4,713,300		
		食堂運営委託費	公益目的事業の費用	4,661,224		
		賃借料	公益目的事業及び収益事業の費用	714,575		
		光熱水費	公益目的事業、収益事業等、法人会計の費用	1,423,500		
		その他の事業費	公益目的事業及び収益事業、法人会計の費用	10,895,774		
	仮受金	職員に対するもの	職員に対する仮受金	15,620		
	賞与引当金	職員に対するもの	職員に対する賞与の支払いに備えたもの	24,762,028		
	職員預り金	職員に対するもの	公益目的事業職員預り金	1,577,221		
	法人税等充当金	法人税に対するもの	収益事業の費用	419,600		
他会計から配賦	減価償却費、建物、構築物	収益事業、法人会計から公益目的事業へ	57,984,632			
流動負債合計				107,167,474		
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	82,907,619		
固定負債合計				82,907,619		
負債合計				190,075,093		
正味財産				1,660,932,062		

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法による。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合額に相当する金額を計上している。なお、基準変更時差異（59,804,925円）については、平成23年度から、12年間で費用処理している。

賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給対象期間に対応する支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

貸倒引当金

医業未収金の貸倒損失に備えるため、法定繰入率により計上している。

(3) 消費税等の会計処理

免税事業者に該当するため、会計処理は税込方式を適用している。

(4) リース取引の処理方法

少額なものを除き、購入時に固定資産として計上している。

減価償却費相当額は、リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法で算定している。

(5) 受取補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

業務委託金収益

取手市との委託事業による補助金

地方補助金

高齢者雇用に対する茨城県からの補助金

(単位：円)

科目	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
業務委託金	取手市	0	32,457,971	32,457,971	0
合計		0	32,457,971	32,457,971	0

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産引当預貯金	35,000,000	0	0	35,000,000
建物更新引当預貯金	367,608,176	24,123,000	0	391,731,176
建物設備維持引当預貯金	130,779,898	0	9,043,000	121,736,898
退職給付引当預貯金	20,024,877	3,037	0	20,027,914
建物	1,054,373,231	0	59,772,395	994,600,836
合 計	1,607,786,182	24,126,037	68,815,395	1,563,096,824

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味財 産からの充当額)
基本財産			
基本財産引当預貯金	35,000,000	(35,000,000)	
小 計	35,000,000	(35,000,000)	
特定資産			
建物更新引当預貯金	391,731,176		(391,731,176)
建物設備維持引当預貯金	121,736,898		(121,736,898)
退職給付引当預貯金	20,027,914		(20,027,914)
建物	994,600,836	(291,590,059)	(703,010,777)
小 計	1,528,096,824	(291,590,059)	(1,236,506,765)
合 計	1,563,096,824	(326,590,059)	(1,236,506,765)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,149,531,150	1,154,930,314	994,600,836
構築物	66,600,950	64,707,573	1,893,377
什器備品	18,263,996	15,307,094	2,956,902
車両	28,674,210	24,039,497	4,634,713
医療用器械	67,332,770	48,037,414	19,295,356
その他の器械	6,929,310	6,634,462	294,848
施設利用権	4,155,359	3,511,271	644,088
ソフトウェア	8,665,140	8,362,802	302,338
合 計	2,350,152,885	1,325,530,427	1,024,622,458

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6. 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務はない。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	12,790,510
合 計	12,790,510

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	24,824,672	24,762,028	24,824,672	0	24,762,028
退職給付引当金	64,070,527	18,837,092	0	0	82,907,619
貸倒引当金	△ 554,863	0	△ 50,824	0	△ 504,039

## 監査報告書

公益財団法人 取手市健康福祉医療事業団  
理事長（代表理事） 藤井信吾 様

私たち監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査報告

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行状況に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

2020年5月8日

公益財団法人 取手市健康福祉医療事業団

監事

石橋 大輔 

公益財団法人 取手市健康福祉医療事業団

監事

高橋 正 

## 2020年度公益財団法人取手市健康福祉医療事業団事業計画

### I 基本方針

当事業団は取手市域における高齢者等の健康・医療・福祉に関する総合的な向上に寄与することを目的としています。その目的を果たすべく、高齢者等への総合的な介護事業を進めてまいります。

具体的には、地域包括ケアシステムの一翼を担うために、生活困難者等の方々への施設利用を含めた福祉サービスの向上や、高齢者ケアサービスの要として地域包括支援センター事業で、地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制の推進、介護予防の必要な援助等を行ってまいります。

#### <理念>

- 1 ご利用者様の尊厳を守ります。
- 2 安全に配慮しながら、ご利用者様の生活機能の維持・向上を目指し、総合的に支援します。
- 3 ご家族や地域の人々・関係機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるように支援します。

#### <実践内容>

ご利用者様のケアの実践としてTHF運動を推進して、安心安全のケアサービスを提供いたします。

- 1 Thinking care ご利用者様の立場に立って考える介護
- 2 Hugging care ご利用者様の考えに寄り添う介護
- 3 Follow up care 在宅復帰後もつながりを持ち最後まで関わっていく介護

### II 公益事業

- 1 介護老人保健施設サービス及び短期（予防）入所療養介護サービス（ショートステイ）の運営

#### (1) 生活困難者への支援を目的とした介護老人保健施設の運営

社会福祉法に定める第2種社会福祉事業（自己負担費用の無料又は低額）を行う介護保険施設を運営しています。

これは、生活困難者に対する支援や利益の保護及び地域における社会福祉の推進を図ることを目的として、利用料の一部を減免しているものです。

また、短期（予防）入所療養介護サービスでは施設の空きベッドを短期間利用し、在宅生活における身体的機能の低下の予防や家族の介護負担の軽減を目的に事業を行っています。短期（予防）入所療養介護サービスも、生活困難者への支援を目的に減免規程を定め、利用料の一部を減免するサービスを実施しています。

#### (2) 介護老人保健施設の運営

<強化型老健の定着と選ばれる介護施設になるために>

介護老人保健施設の特徴は、何と云っても、医師、看護職、介護職、理学・作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士等の多職種がご利用様の身体機能に合ったケアプランを立案し、リハビリテーション等を行い、自立した在宅生活が営めるようにする施設であります。平成30年度介護報酬改定で示された、在宅復帰支援の10指標を着実に推進し、地域包括ケアシステムに示された介護老人保健施設の運営に努めてまいります。

#### ① 家族会

ご家族からの施設評価軸としての意味合いや、日頃の悩みを話し合っていく機会を作り、情報の共有の場としての機能を強化してまいります。

具体的には、夏・冬に開催する行事（夏・冬まつり）の時に開催してまいります。

#### ② 安全衛生の管理

##### (ア) リスク管理の徹底

要介護状態の高齢者は免疫力の低下を伴っているため、健康・安全両面でハイリスクグループであり、また施設は、集団生活という状況に起因するリスクや、地域に開かれた施設であるがゆえのリスクを常に抱えています。安心してご利用いただけるよう、安全・衛生委員会を中心にリスク管理を徹底してまいります。

##### (イ) 感染症対策の推進

地域に開かれ不特定多数の方がご利用される施設では、常に感染性病原体が持ち込まれる危険をはらんでいます。その危険を最小限にとどめ、まん延を防止するため、各種整備された感染症対応マニュアルをもとに、対策チームを中心に管理徹底を行っています。本年も引き続き、標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底を図り、感染予防備品（マスク・手袋等）も十分に備蓄し対応してまいります。

特にインフルエンザ（新型・季節性）対策としては、ご利用者様及び職員全員の予防接種を行い、迅速診断キットや医薬品の備蓄を引き続き万全にいたします。また、レジオネラ症防止対策として、浴槽及びそれに付随する機器・給湯水・冷却塔の定期的な清掃・点検・細菌検査を引き続き実施いたします。

##### (ウ) 事故等への対応

現在、施設内での事故防止対策として安全・衛生委員会を設置してひやりはっと報告に基づいて、各事例を多方面から分析検討し、事故予防の対策を図っております。事故が起きてからではなく、未然に防ぐため、ご利用者様個別のアセスメントのみならず、ケアプラン・介護状況・環境・連携体制に至るまできめ細かく検討し、ご利用者様に安心安全なサービスの提供ができるように引き続き努力してまいります。



### ③ 個別ケアの充実

THFケアをより実践化させたユマニチュード（ご利用者様の目線で正面から見つめ・優しい前向きな事を何度も話しかけ・ご利用者様と触れ合いながら寝たきりにならないようになるべく立位保持を促す。以上4つの介助方法を用いた手法）を柱にした介護を実践してまいります。

また、老人保健施設の特徴の一つでもある多職種（医師，看護職，介護職，理学・作業療法士，言語聴覚士，薬剤師，管理栄養士，ケアマネージャー等）協働でご利用者様の個別ケアの充実を更に高めてまいります。

#### (ア) 要介護状態の重度化への対応

胃ろう・CV挿入者へのケアの充実を図ってまいります。

#### (イ) ターミナルケア（エンドオブライフケア）の充実

毎月のターミナルケア委員会を中心に、ご利用者様及びご家族の皆様に安心してより良き終末期ケアの提供ができるよう充実させてまいります。

#### (ウ) 栄養改善の取組み

低栄養リスクの高いご利用者様に対して、多職種が協働して低栄養状態を改善するための計画を作成して低栄養リスクの改善に努めてまいります。

### ④ 「食」に関する安心安全サービスの充実

施設の生活の中で、ご利用者様が一番楽しみにしているものの一つとして食事が挙げられます。管理栄養士の管理のもと、安全な食材料の提供のため品質管理を徹底して適切な食事摂取が行われるよう支援します。

また、より一層食を楽しんで頂けるように様々な企画を立ててまいります。

#### <食事プロジェクト>

- ・すし祭り
- ・毎月のお楽しみ献立の拡充
- ・流しそうめん祭り（夏期に実施）
- ・毎月のイベント（乳製品・フルーツ・ケーキ等）
- ・2選択メニューの実施（おかずを2種類から選択できるサービスです。

通所限定サービスではデザートや付け合わせを2種類の中から選択できるサービスもあります。）

#### <認知リハビリを兼ねたクラブ活動>

- ・調理クラブ 献立から買い物，調理とご利用者様が全てを行っていくクラブ活動です。
- ・外出してのランチ 買い物やランチを楽しんでもらう外出会で、支払いも含めご利用者様に全てを行っていただいています。

### ⑤ リハビリ専門施設としての更なる充実

在宅復帰施設としての要であるリハビリを更に充実して、安心して在宅生活ができるように支援いたします。

また、在宅復帰されたご利用者様のご自宅に訪問し、生活面でのフォローアップを中心に在宅復帰後のサポート体制を充実させ、安心して生活できるようにしてまいります。

#### (ア) リハビリテーションの多様化

様々な状態に合わせたリハビリテーションを行い、身体機能の維持向上を目指します。

##### <個別生活動作療法>

摂食及び嚥下練習、関節可動域運動及びポジショニング（姿勢維持のための練習）、起居動作練習、ベッドサイドでの起立・立位保持練習、移乗動作練習、歩行練習、トイレ動作練習、床上動作練習、階段（段差）昇降練習、家事動作練習

##### <物理療法（疼痛の緩和）>

ホットパック（湿式・乾式）、マイクロ波、低周波、足浴

##### <浮腫療法>

リンパマッサージ、メドマー（治療器械）、筋力増強運動（マシンを使った練習を含む）、足浴

##### <個別及び集団での認知療法>

リアリティーオリエンテーション（見当識の訓練）、学習療法、回想法、運動療法、リラクゼーション・マッサージ療法、作業療法

##### <音楽療法>

歌うことや楽器を使用して、音楽の持つ生理的・心理的・社会的働きを、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上に向けて、意図的、計画的に行います。

#### (イ) 機器の拡充

リハビリテーション機器や物理療法機器を使用し、身体機能の維持向上を目指します。

#### (ウ) 在宅復帰のご利用者様への退所前後訪問の実施

在宅復帰されるご利用者様のご自宅に退所前後に訪問して、快適な生活が営めるように専門職の観点から必要なサービス計画を立案します。

## 2 通所リハビリテーションサービスの運営

### (1) 通所リハビリテーションサービスの運営

在宅生活の維持及び家族の介護負担の軽減を目的に実施しています。具体的には、通所リハビリ計画に基づき、心身の機能の維持回復を図ることを目的に、医師、看護職、介護職、理学・作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士等がリハビリを実施しています。

また、通所リハビリテーションサービスも生活困難者への支援を目的に減免

規程を定め、利用料の一部を減免するサービスを実施しています。本年度も安心して在宅生活が営めるようサービスの向上に努めてまいります。

## (2) 通所リハビリテーションの概要

在宅生活の要である通所リハビリテーションは、他の通所サービスとは異なり、医師、看護職、介護職、理学・作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士等の多職種が、個別ケアプランに基づきリハビリテーションを実施しています。

また、単にリハビリテーションの提供だけでは通う楽しみも半減してしまいます。そうした観点より、ご利用者様にご満足していただけるように各種イベントを開催して、楽しみながらリハビリが行えるサービスの提供に努め継続したリハビリテーションの効果で身体機能の維持向上に努めてまいります。

### <個別生活動作療法>

関節可動域運動及びポジショニング(姿勢維持のための練習)、起居動作練習、移乗動作練習、歩行練習、トイレ動作練習、床上動作練習、階段(段差)昇降練習

### <物理療法(疼痛の緩和)>

ホットパック(湿式・乾式)、マイクロ波、低周波、足浴

### <浮腫療法>

リンパマッサージ、メドマー(治療器械)、筋力増強運動(マシンを使った練習を含む)、足浴

### <個別及び集団での認知療法>

リアリティーオリエンテーション(見当識の訓練)、学習療法、回想法、運動療法、リラクゼーション・マッサージ療法、作業療法

### <音楽療法>

歌うことや楽器を使用して音楽の持つ生理的・心理的・社会的働きを、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上に向けて、意図的、計画的に行います。

### <機器の拡充>

リハビリテーション機器や物理療法機器を使用し、身体機能の維持向上を目指します。

### <各種イベント等>

ご利用される皆様に喜んでいただけるイベント等を立案して、通う楽しみを提供し、継続したリハビリの提供ができるようにしてまいります。

外出会・・・普段外出して買い物等ができないご利用者様へ買い物等の機会を提供します。(年14回予定)

月例会・・・毎月イベントを開催して、通う楽しみを提供します。

クラブ活動・リハビリの一環でもある約10種のクラブ活動を更に充実させ、活動意欲の向上に努めます。

### 3 地域包括支援センター事業の運営

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある生活を続けることができるようにするため、心身の健康の維持、生活の安定のために必要な相談・援助を行うことにより、福祉の増進及び保健医療の向上を図り、包括的に支援していく中で地域包括ケアシステムの確立を目指します。

また、地域包括ケアシステムの推進を担う中核機関として、地域住民一人ひとりに対する個別的なサービスの調整、地域におけるネットワークの構築・再生等、地域の様々なニーズに応えることができる高齢者福祉の「ワンストップサービスの拠点」となることを目指し、各種の事業を実施してまいります。

#### (1) 包括的支援事業

##### ① 総合相談支援業務

###### <実態把握>

窓口や電話での相談を始め、地域住民からの連絡、介護予防教室等の参加状況の把握、独居又は高齢者世帯等支援を要する家庭への訪問などを行うことにより、地域の高齢者の心身の状況や家庭環境等についての実態調査を行うことで、地域に存在する隠れた問題やニーズを発見し、必要に応じ一般介護予防事業につなげる等、早期対応できるようにします。

###### <総合相談業務>

地域において安心できる拠点としての役割を果たすため、関係機関との連携のもと様々な相談内容について、総合的かつ迅速に対応できる体制を作ります。介護保険サービス以外にも様々な社会資源を把握し、相談者への適切な支援につながるようにします。

###### <地域支援ネットワーク構築業務>

効率的・効果的に地域包括支援センターの業務を行い、支援を必要とする高齢者を見出し、保健・医療・福祉サービスを始めとする適切な支援につなぎ、継続的な見守りを行い、更なる問題の発生を予防します。

また、地域住民等が主体となって行う地域介護予防活動支援事業に係るサポーター活動の支援や健康相談・教育等を実施し、地域団体等と日頃から連携を図り、実際の活動に活用できるように体制を強化します。

これにより、閉じこもり等による廃用症候群の予防に資するほか、虐待等困難事例について早期に発見し、介入あるいは見守り活動を行うことができるようにします。

##### ② 権利擁護業務

###### <成年後見制度の活用>

認知症などにより判断能力の低下が見られる場合には、適切な介護サービス利用や、金銭管理、法的行為などのため成年後見人制度等を活用した支援を行

います。

＜高齢者虐待への対応＞

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、速やかに当該高齢者の状況を把握し、市と連携を図りながら適切な対応を行います。

＜困難事例への対応＞

困難事例を把握した場合は、実態把握の上、地域包括支援センターの専門職（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）が連携して対応を検討します。

＜消費者被害の防止＞

地域団体・関係機関との連携のもと、消費者被害情報の把握を行い、情報伝達と適切な対応により被害を未然に防ぐように支援するとともに、被害の回復のための機関を紹介します。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

＜包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築＞

施設・在宅を通じた地域における包括的・継続的なケアを実施するため、関係機関との連携を構築し、地域の介護支援専門員が介護保険サービス以外の様々な社会資源（地域の活力）を活用できるように、地域の連携・協力体制を整備します。

＜介護支援専門員に対する支援・指導並びに被保険者に対する包括的かつ継続的な支援の環境の整備＞

居宅介護支援事業所の介護支援専門員の日常業務の実施に関し、専門的な見地からの個別指導や相談への対応を行います。

また、取手市介護支援専門員連絡協議会へ参加し情報提供や活動支援を行うほか、事例検討会・研修会を開催し、介護支援専門員の資質の向上を図るための支援を行うとともに、地域の介護支援専門員が、日常的に円滑な業務を実施できるように、介護支援専門員のネットワークの構築に努めます。

④ 地域ケア個別会議の充実

介護支援専門員が抱える困難事例や、地域住民や関係機関による支援要請事例等について、多職種による検討を行い、自立支援に資するケアマネジメントの支援並びに地域で不足している社会資源の把握及び開発につながるよう、地域ケア個別会議の充実に努めます。

また、本人の自立支援・重度化防止を図るための介護予防のための地域ケア個別会議を実施します。

⑤ 認知症施策の推進

日々の総合相談や認知症相談により支援を必要とする住民の把握を行い、相談後カンファレンスに参加する等、認知症の疑いのある者の早期発見・対応、適切なサービス利用や家族支援、生活環境の調整等を行います。

また、認知症サポーター養成講座の開催等を通じて、地域住民への正しい知識の普及を図ります。

さらに、認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームと連携し、認知

症の人やその家族が状況に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう、ケア体制の構築に努めます。

#### ⑥ 在宅医療・介護連携の推進

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、市と共同で医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進するため、取手市医師会が実施する事業に協力します。

#### ⑦ 生活支援サービス（介護予防サービス含む）の体制整備

高齢者が生きがいを持ちながら暮らしていくためには、日常生活を支えていく生活支援サービス（介護予防サービス含む）の体制整備を図っていくことが必要不可欠であり、多種多様なサービスの充実を図るため、生活支援コーディネーターと連携するとともに、協議体を実施し協働でその取り組みを推進します。

なお、介護予防のための地域ケア個別会議には、生活支援コーディネーターも参画し、充実した生活支援サービスの体制整備を推進します。

#### (2) 第1号介護予防支援事業

介護予防・日常生活支援総合事業のうち、基本チェックリスト該当者に対して、介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況、置かれている環境、その他の状況に応じて、その選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他生活支援サービス等適切なサービスが包括的かつ効果的に提供されるよう必要な援助を行います。

#### (3) その他

厚生労働省が作成した地域包括支援センター業務マニュアルをはじめ、地域包括支援センターの設置運営や地域支援事業の実施についての厚生労働省からの通知に沿って、地域支援事業を実施するものとします。

また、各事業の実施に当たっての実施方法及び各種様式などについては、受託仕様にのっとり行ってまいります。

### 4 職員の処遇改善

社会問題となっている人材の不足を解消するために、今まで以上に働く人が魅力を感じる職場づくりを目指し、以下の充実を図ってまいります。

#### (1) 人事考課

キャリアパス（職員の資格や能力、勤続年数等に応じて、具体的な処遇アップやポスト、役職（処遇や役職のステップアップ経路）を決める等級制度）を確実にを行い、職場において自己を十分に発揮できるように職員のやる気を鼓舞してまいります。

#### (2) 職員教育制度の充実

職員教育制度を充実させ、新人職員からベテラン職員に至るまでサービス提供者のプロとしてふさわしい人材になるための教育プログラムを更に充実させた、キャリア段位制度（業務の中で現在わかること（知識）、できること（実践的ス

キル)を詳細に分析及び評価して、次のステップに進むためには何が必要かを、目に見える形で指導実践していくもので、その熟練度＝7段位に評価する制度)の導入を進めてまいります。また、他の先進施設への実務研修や勉強会等の拡充、外部研修会・老人保健施設協会の全国や県大会での研究発表等への参加を通じて、看護・介護・リハビリ等のスタッフ間で技能向上に努めた交流を図ってまいります。

### (3) 奨学金制度

職員のスキル向上を目的とした奨学金制度を充実させ、資格取得を支援し、より良いケアの提供に努めてまいります。

### (4) 健康管理部による健康管理の徹底

介護施設で働く職員環境の改善や職員の健康管理を目的に、産業医の指導のもと、積極的かつ効果的に職員の健康管理に努めてまいります。

#### ① 健康管理活動

- ・定期健康診断実施後の産業医による保健指導及び健康相談
- ・労働安全衛生法に基づくストレスチェック

#### ② 教育活動

- ・産業医による健康セミナー
- ・メンタルヘルスセミナー

#### ③ 健康づくり活動

- ・健康ニュース(新聞)の発刊
- ・職員への健康セミナー参加等推進活動

#### ④ 職員の福利厚生

- ・職員の働く意欲やスキルアップを鼓舞するための奨学金制度の継続
- ・資格取得のための支援
- ・資質向上のための研修、技術指導等による職員の能力向上
- ・休暇制度の充実によるストレスの改善

## 5 高齢者の公衆衛生に関する指導相談事業

<地域貢献事業及び相談援助事業>

「緑寿荘セミナー」の開催

一般市民を対象に、健康的で、できる限り要介護状態にならないための健康維持に関する各種講座を開催し、地域高齢者へ健康維持の啓発活動を行ってまいります。

「認知症予防セミナー及び緑寿荘カフェ」の開催

一般高齢者を対象に認知症予防セミナーを開催し、認知症に関する啓発及び認知症予防のための講義やトレーニングを実施してまいります。

また、セミナー終了後にオレンジカフェを開き、悩みや情報を共有しながら交流を図ることを目的に開催してまいります。

#### 「介護教室」の開催

老人保健施設は在宅復帰を推進する施設であります。その際、大事になってくるのはご自宅での介護方法です。ご家族様の目線に立ち、排泄・入浴・食事等の基本の介護技術を学び、安心して在宅復帰できるように支援してまいります。

#### 「健康なんでも相談」の実施

電話・FAX・メール等を利用して、取手市民の方の健康に関する相談を受け付け、迅速に具体的解決方法を相談者へ回答いたします。

#### <市からの受託事業>

#### 「元気ハツラツ教室」の開催

取手市からの受託事業で、高齢者の方で運動機能の低下が見られる方に運動機能の向上を目的とした介護予防事業を専門家の指導のもと実施してまいります。

### Ⅲ その他の事業

#### <居宅介護支援事業>

高齢者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して、支援を行ってまいります。そのためにも専門性の高い介護支援専門員を育成し、地域社会に信頼される事業所の体制作りを目指します。

また、地域の高齢者の情報窓口である民生委員等の皆様と今まで以上に情報を共有し、安心して生活できるよう支援してまいります。

#### 1 地域に信頼される居宅介護支援事業所として

- (1) 定期的な会議を通じて各介護支援専門員のケース情報を共有し、いつでもバックアップを行えるチームケアの体制を構築してまいります。
- (2) 24時間の相談体制により、ご利用者様が安心して在宅での生活が継続できるようにしてまいります。それと同時に、緊急時に対応できるように対処してまいります。

#### 2 多様なニーズを持つご利用者様に対応できる介護支援専門員の育成

- (1) 計画的な事業所内研修の実施により、個々の知識と援助技術を深めてまいります。
- (2) 各種研修会等へ積極的に参加し、地域の介護支援情報の把握・介護保険制度の変化等の情報を収集し、適切な援助を行えるようにしてまいります。



#### IV 設備の更新及び修繕

長期修繕計画に基づき計画的修繕を実施して、安心安全に施設をご利用いただけるように次の修繕等を計画しています。

- (1) 受変電設備工事
  - ・ 高圧遮断器更新
  - ・ 保護継電器更新
- (2) 高圧引き込みケーブル更新工事
- (3) 施設内照明設備工事

#### V 会計別予算計上

##### 1 法人会計

- (1) 公益財団法人の管理運営
- (2) 理事会・評議員会の開催

##### 2 介護老人保健施設会計

- (1) 介護老人保健施設入所・短期入所・通所リハビリテーション等の事業運営
- (2) 季節行事の実施（入所・通所）夏まつり・冬まつり・家族会・野外レクエーション・毎月行う季節イベント・緑寿荘セミナー等
- (3) 設備・修繕等
- (4) 職員研修の実施
- (5) 建物更新引当資産及び建物設備維持引当資産の管理

##### 3 地域包括支援センター会計

- (1) 包括的支援事業
- (2) 介護予防支援業務
- (3) 職員研修の実施

##### 4 居宅介護支援事業所会計

- (1) 介護保険制度の相談等
- (2) 介護（介護予防）サービス計画の実施
- (3) 受託契約の履行（介護保険認定調査の実施等）
- (4) 職員研修の実施

2020年度

予 算 書

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

公益財団法人取手市健康福祉医療事業団

介護老人保健施設会計

地域包括支援センター会計

居宅介護支援事業所会計

法 人 会 計

収支予算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
	介護老人保健施設会計	地域包括支援センター会計	居宅介護支援事業所会計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	3,000	0	3,000
基本財産受取利息	0	0	0	3,000	0	3,000
特定資産運用益	50,000	0	0	0	0	50,000
特定資産受取利息	50,000	0	0	0	0	50,000
事業収益	640,441,000	561,000	29,709,000	0	0	670,711,000
介護保健施設介護料収益	374,417,000	0	0	0	0	374,417,000
居宅介護料収益	153,983,000	0	0	0	0	153,983,000
利用者等利用料収益	112,041,000	0	0	0	0	112,041,000
居宅介護支援料収益	0	0	29,709,000	0	0	29,709,000
介護予防収益	0	561,000	0	0	0	561,000
受取補助金等	13,768,000	30,735,000	2,766,000	0	0	47,269,000
業務委託金	0	30,735,000	2,766,000	0	0	33,501,000
受取地方補助金	978,000	0	0	0	0	978,000
受取補助金振替額	12,790,000	0	0	0	0	12,790,000
雑収益	830,000	0	105,000	0	0	935,000
経常収益計(A)	655,089,000	31,296,000	32,580,000	3,000	0	718,968,000
(2) 経常費用						
事業費	659,508,000	31,809,000	29,962,000	0	0	721,279,000
役員報酬	350,000	6,000	6,000	0	0	362,000
給与手当	300,476,000	17,572,000	17,814,000	0	0	335,862,000
臨時雇賃金	53,269,000	3,547,000	3,155,000	0	0	59,971,000
退職給付費用	20,460,000	2,229,000	480,000	0	0	23,169,000
法定福利費	50,428,000	2,749,000	3,020,000	0	0	56,197,000
医薬品費	5,437,000	0	0	0	0	5,437,000
施設療養材料費	1,270,000	0	0	0	0	1,270,000
その他の材料費	14,056,000	0	0	0	0	14,056,000
介護給付費減免	10,807,000	0	0	0	0	10,807,000
福利厚生費	2,406,000	49,000	45,000	0	0	2,500,000
旅費交通費	212,000	237,000	0	0	0	449,000
通信費	949,000	346,000	305,000	0	0	1,600,000
減価償却費	53,500,000	25,000	700,000	0	0	54,225,000
施設消耗器具備品費	4,068,000	0	0	0	0	4,068,000
消耗器具備品費	590,000	97,000	20,000	0	0	707,000
消耗品費	5,017,000	295,000	188,000	0	0	5,500,000
修繕費	9,500,000	50,000	100,000	0	0	9,650,000
職員被服費	970,000	60,000	60,000	0	0	1,090,000
車両費	1,865,000	139,000	243,000	0	0	2,247,000
光熱水費	22,043,000	660,000	359,000	0	0	23,062,000
印刷製本費	320,000	80,000	0	0	0	400,000
賃借料	17,461,000	2,833,000	2,152,000	0	0	22,446,000
保険料	897,000	104,000	96,000	0	0	1,097,000
租税公課	113,000	21,000	680,000	0	0	814,000
雑費	12,614,000	115,000	9,000	0	0	12,738,000
委託費	69,553,000	129,000	425,000	0	0	70,107,000
研修費	877,000	466,000	105,000	0	0	1,448,000
管理費	0	0	0	1,635,000	0	1,635,000
役員報酬	0	0	0	305,000	0	305,000
給与手当	0	0	0	133,000	0	133,000
退職給付費用	0	0	0	15,000	0	15,000
法定福利費	0	0	0	20,000	0	20,000
旅費交通費	0	0	0	100,000	0	100,000
通信費	0	0	0	10,000	0	10,000
減価償却費	0	0	0	50,000	0	50,000
消耗品費	0	0	0	1,000	0	1,000
接待交際費	0	0	0	140,000	0	140,000
諸会費	0	0	0	342,000	0	342,000
光熱水費	0	0	0	20,000	0	20,000
会議費	0	0	0	40,000	0	40,000
租税公課	0	0	0	5,000	0	5,000
雑費	0	0	0	3,000	0	3,000
委託費	0	0	0	451,000	0	451,000
経常費用計(B)	659,508,000	31,809,000	29,962,000	1,635,000	0	722,914,000
当期経常増減額(A-B)	△ 4,419,000	△ 513,000	2,618,000	△ 1,632,000	0	△ 3,946,000
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	1,309,000	0	△ 1,309,000	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,110,000	△ 513,000	1,309,000	△ 1,632,000	0	△ 3,946,000
一般正味財産期首残高	1,322,950,000	△ 9,880,000	26,790,000	28,440,000	0	1,368,300,000
一般正味財産期末残高	1,319,840,000	△ 10,393,000	28,099,000	26,808,000	0	1,364,354,000
II 指定正味財産増減の部						
受取補助金等	△ 12,791,000	0	0	0	0	△ 12,791,000
当期指定正味財産増減額	△ 12,791,000	0	0	0	0	△ 12,791,000
指定正味財産期首残高	326,987,000	0	0	0	0	326,987,000
指定正味財産期末残高	314,196,000	0	0	0	0	314,196,000
III 正味財産期末残高	1,634,036,000	△ 10,393,000	28,099,000	26,808,000	0	1,678,550,000

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入の予定	<input type="checkbox"/>	あ り	<input checked="" type="checkbox"/>	な し
金 額	使 途			

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		<input checked="" type="checkbox"/>	あ り	<input type="checkbox"/>	な し
事業 番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達方法又は 取得資金の使途	
公1	1階、2階通路照明改修工事	8,466,000 円		建物更新引当預金取崩	
公1	高圧気中開閉器及び高圧ケーブル更新工事	3,259,000 円		建物更新引当預金取崩	
公1	高圧機器更新工事	1,221,000 円		建物更新引当預金取崩	
公1	汚水ポンプ更新工事	1,476,000 円		建物更新引当預金取崩	
公1	外部鉄部塗装工事	2,952,000 円		建物維持引当金取崩	
公1	機械室配管修理	1,476,000 円		建物維持引当金取崩	
公1	ベッド5台購入	2,500,000 円		自己資金	
公1	リハビリ機械ローリング	980,000 円		自己資金	
公1	エレベーター型車椅子5台	750,000 円		自己資金	
公1	車いす用体重計	198,000 円		自己資金	
公1	通所用パソコン1台	150,000 円		自己資金	
他	高圧気中開閉器及び高圧ケーブル更新工事	53,000 円		建物更新引当預金取崩	
他	高圧機器更新工事	20,000 円		建物更新引当預金取崩	
他	汚水ポンプ更新工事	24,000 円		建物更新引当預金取崩	
他	外部鉄部塗装工事	48,000 円		建物維持引当金取崩	
他	機械室配管修理	24,000 円		建物維持引当金取崩	
総 合 計		23,597,000 円			